



BLUE SKY

～自ら学び 心豊かな子どもに～

第3号

令和7年6月20日(金)
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



文責：校長 渡會 寛之

浄水場ダム見学

6月10日(火) MOYOG WATER TREATMENT PLANTとBABAGON DAMでの校外学習に出かけてきました。4年生にとっては社会科の学習として、自分たちが普段使っている水がどのようにして家庭まで運ばれてくるのか自分の目で学んですることができました。特にこの浄水場では1日に1億8000万ℓの水が処理されているということを知り、目を丸くしているようでした。



また、他の学年の子どもたちにとっても、英会話の授業の一環として、英語での説明に耳を傾け、質問もはっきりすることができました。

体験的な学びを推進しているKJSでは子どもたちが目を輝かせて日々学習に取り組んでいます。

運動会リハーサル実施

6月18日(水) リカスホッケースタジアムで運動会リハーサルが行われました。今年の運動会も、子どもたち自身で作り上げる運動会を目指し、企画の段階から子供たちの意見を取り入れて各競技等を準備してきました。リハーサルで実際にやってみると、進行のアナウンスの仕方から、応援合戦、競技の作戦等様々な改善点が見つかり、子どもたちは学校に帰ってからさらに工夫を重ねています。このようなトライ＆エラーを繰り返しながら、子どもたちは少しずつよいものを作り上げていく実感を得ているようです。今年度のKJSのテーマ「やっちゃえKJS～敬意・情熱・創造力～」を見事体現する運動会としてくれるものと期待しています。

保護者の皆様におかれましては、お忙しいところとは存じますが、子どもたちに盛大な声援を送ってくださいますようお願いいたします。



交流学習 in DSFS



6月12日(木) DSFSにおいて交流学習が行われました。マレーシアの民族衣装と民族楽器の演奏に迎えられてスタートしました。その後4つのグループに分かれ、それぞれDSFSの子どもたちと一緒に授業を受けるとすぐに仲良くなり、笑顔でやり取りしている様子を見ることができました。また、合間合間にDSFSの子どもたちとのスポーツ交流もあり、KJSの団結力と国際親善も深めることができたようです。特にballを使ったリレー競技では5チーム中見事に1位を勝ち取り、我々も誇らしく感じました。

国際親善は国の機関が外交を通して進めることも多いでしょうが、こういった、小さくてもお互いの顔が見える交流活動一つ一つが、民間外交として重要なのではないかと考えています。そのため、子どもたちには常に「ちびっこ親善大使」とあるという自覚をもって行動するよう呼び掛けています。この交流会では見事にその役目を全うしてくれたと喜んでいました。

避難訓練

6月11日(火) 避難訓練及び引き渡し訓練を行いました。子どもたちは皆真剣に避難行動をし、お迎えを待つ間も、無言で安全に過ごすことができました。災害や事故はいつやってくるかわかりません。常に最悪を想定して行動し、自分の身は自分で守れるよう指導していきます。

また、先日はクアラルンプールの方で学生を乗せたバスが衝突事故を起こし、12名がなくなるという痛ましい事故がありました。バスの乗り方にも十分注意して、シートベルトも必ず締めるよう指導していきますので、ご家庭でのお声がけもよろしくお願いいたします。



水をきれいにしてくれて
ツイてる！！

